



改装中の老人福祉センター

### 福祉サービス切り捨ての

### 「行財政改革」見直しを

高野昇

(問) 自公政権のもとで構造改革が押し進められ、リストラによる失業や倒産、自殺者も相次いでいる。その上増税と負担増、貧困も深刻化している。市の行財政改革は、こうしたもて実施され、市民生活に密着した福祉に大ナタがふられている。市民の暮らしの実態から市の行革を検証し見直しが必要。

(答)市長 現在、新たな項目の追加や、これまでの数値目標の見直しなどを主とした、行財政改革推進プランの見直し作業を進めております。

### 老人福祉センター

### 非常口と書庫の設置を

(問) 施設管理者から、利用者の安全上、非常口の設置が必要である事、また書庫の設置も要望されました。要望に応え改善を。

(答)健康福祉部長 新たに南側集会施設の出入り口と、大広間ステージ近くに緊急避難出口として開設します。書庫については現在の浴室廃止により、使用されなくなりまずポンプ室を活用できるようにします。

### 学童保育室の運営改善を

(問) 厚労省が放課後児童クラブガイドラインを発表した。このガイドラインには学童保育室の「専用スペース」としての機能が確保されるよう内容が追加されている。ガイドラインと埼玉県の運営基準に照らし、学童保育の運営改善を。

(答)健康福祉部長 ガイドラインと県の基準に照らし、来年度の見込み児童数を見ると、旭学童が基準から外れるため、指導員と協議し、45人程度までは受け入れが可能だと聞いています。今後恒常的に児童数が増える見込があれば、増築が必要です。

### 吉川市の農政と

### これからの農業に 活路はあるか

高崎 正夫

(問) 国が進める農政は、全国一律農政の問題、品目横断的経営安定対策など、当市においては、都市近郊であることの利点を生かすための農家の自主、自助努力は限界があるので政治、行政がより強くこれからの都市農業の方向を示す責任はないでしょうか。

(答)市長 国の農業政策は従来から、全国一律での事業などを展開しており、生産調整など同一の品目を奨励しているのが現状でございます。自然条件や社会条件が異なっておりますので、地域の特色を生かし、地域の実情にあった農業を進めていくことが重要であると思っております。

(問) 品目横断的経営安定対策は、現在当市では、農業法人1社が助成対象となつていますが、当市の実情を考えますと、新たな農家などが対象になることは難しいものと考えております。

(問) 米価対策は、生産調整によ

るものと、付加価値をつけるものとあるが、生産調整には限界があると考えます。そして兼業農家の活路をどこに求めるか行政の指導力をうち出すべきではないでしょうか。

(答)市長 生産調整のみで米価の維持を図ることは困難であると予想され、有機栽培などの付加価値をつけて、一定の価値をつけていく必要があると考えております。

また、農家の活路については当市におきましては、水田農業が大半を占めていること、また、比較的小規模な兼業農家が多いことなどから、吉川の農業と農地を守っていくためには、コストや労力の削減などの認識を高めていくことが必要であると感じております。

### 駅前サービスセンターに

### 期日前投票所の増設を

阿部 民子

(問) 一月の市議会議員選挙には25名分の約1千7百万円の予算が計上されている。有権者の方には関心をもって投票していた



だきたいが、投票率を高めるには啓発だけでは限界がある。利便性を高めることが必要。実現性は。

(答)総務部長 施設的环境、駐車場、職員配置から現段階での増設はできないと判断。

(問) 選挙時のみ無所属で立候補し、当選後公党として活動することについて見解は。

(答)市長 本人の政治的判断です。

### 「レモン石鹸」から「無添加石鹸」に切り替えて

(問) 上尾市では子どもたちのアトピーなどのアレルギーを引き起こす着色料や香料などの『指定物質』が含まれている「レモン石鹸」を全廃している。学校や公共施設への指導を。

(答)教育部長 学校ごとに購入し石鹸利用は様々であるが、環境面、アレルギー等へも今後配慮していく。

### 臨時職員の処遇改善を